

第4章 イベントとコンベンション

1 札幌でのイベント開催状況

(1) さっぽろ雪まつり

さっぽろ雪まつりは、昭和25年、市内の中高校生たちが大通公園西7丁目に作った小さな雪像6基からスタートしました。寒く厳しい冬に、わずかの楽しみを求めて集まった市民は5万人を数え、小雪像を囲んでのスクエアダンスや映画会を楽しみました。



回を重ねるごとにその規模は拡大し、第6回から雪像の制作に自衛隊が携わることで、大雪像時代が到来しました。今では国内はもとより世界的に知られる冬の一大イベントになっています。

第62回雪まつりでは、国宝建築物や中国を代表する歴史的建築物、子供たちに人気の恐竜などの大雪氷像が「大通会場」に作られ、幅広い年齢層から関心を集めました。また第2会場の「つどーむ会場」は遊びをテーマとし、チューブスライダーや、北海道ならではの体験をテーマとした竹スキーなど、来場者参加型の雪まつりとして好評を博し、過去最高を記録した前回観客数と同様の240万人台の人出となりました。

(URL) <http://www.snowfes.com/>

【第62回さっぽろ雪まつりの開催概要】

期 間	平成23年2月7日(月)～13日(日)〔7日間〕	
会 場	大通会場	大通西1～12丁目
	つどーむ会場	札幌市スポーツ交流施設「つどーむ」
	すすきの会場	駅前通(南4～7条)
行 事 等	<ul style="list-style-type: none"> 開会式(大通西8丁目 2月7日) つどーむ会場オープニングセレモニー(つどーむ 2月7日) 国際雪像コンクール 16チーム(大通西11丁目) 市民雪像(大通小雪像105基、中雪像3基、つどーむ小雪像8基) スノーオブジェコンテスト(つどーむ 2月7日) ステージイベント(各会場で会期中、多種多彩なイベントを実施) 	
雪氷像数	252基(大雪像5基、中雪像7基、大氷像2基、その他小雪氷像)	
雪輸送量	5tトラックで約6,290台(1月7日開始)	

【観客数、雪氷像数の推移(過去10年)】

	第53回 (平成14年)	第54回 (平成15年)	第55回 (平成16年)	第56回 (平成17年)	第57回 (平成18年)	第58回 (平成19年)	第59回 (平成20年)	第60回 (平成21年)	第61回 (平成22年)	第62回 (平成23年)
雪像数(基)	312	308	311	304	338	307	290	286	248	252
観客数 (千人)	2,297	2,233	2,179	2,191	1,985	2,101	2,159	2,080	2,433	2,416

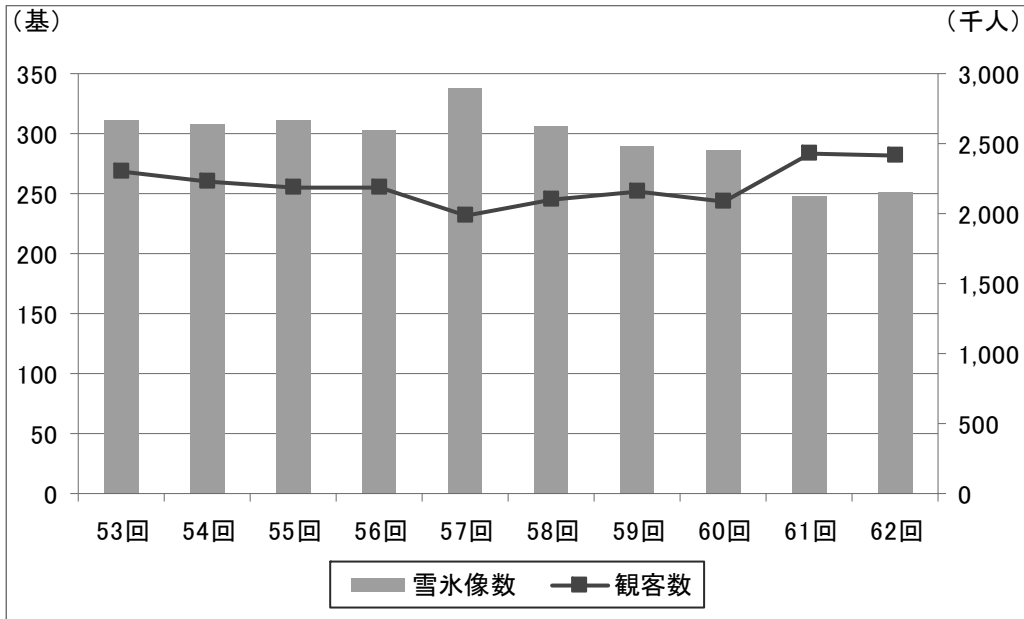


図 4-1 さっぽろ雪まつりの観客数、雪氷像数の推移

(2) YOSAKOIソーラン祭り

高知の「よさこい祭り」で、南国土佐の若者たちが情熱的に踊り舞うさまを目にした札幌の大学生が、翌年の平成4年、その感動を再現する新イベントを札幌に創り出しました。よさこい踊りとソーラン節という、日本の南と北の風物詩を組み合わせた「YOSAKOIソーラン祭り」の誕生です。

鳴子（なるこ）を手にし、あでやかな衣装に身を包んだ踊り子チームのそれぞれが、ソーラン節のオリジナルやアレンジ曲に合わせて独自のよさこい踊りを披露し、市内各会場で腕を競い合います。

平成10年開催の第7回から、祭りの急速な規模拡大に対応するため、学生中心の実行委員会に代わって、経済界や本市などが加わり組織委員会が結成され、運営・管理体制の強化が図られました。

平成23年6月の第20回のYOSAKOIソーラン祭りは、東日本大震災で被害にあわれた方々を少しでも支援したいと考え、「東日本大震災復興支援大会」と位置づけて開催しました。

義援金の募集口座の開設、チャリティーリストバンドの販売、被災地から参加されるチームのソーランナイトでの演舞機会の提供など、YOSAKOIソーラン祭りを通じて支援の輪を広げました。

(URL) <http://www.yosakoi-soran.jp/>



提供：YOSAKOIソーラン祭り組織委員会

【第19・20回YOSAKOIソーラン祭りの開催概要】

	第19回（平成22年度）	第20回（平成23年度）
期 間	平成22年6月9日(水)～13日(日)	平成23年6月8日(水)～12日(日)
会 場	大通公園を始めとする市内27会場	大通公園を始めとする市内20会場
参 加 者	延べ30,000人 304チーム	延べ28,000人 284チーム
うち市内	78チーム	75チーム
道内	79チーム	81チーム
その他	147チーム	128チーム
観 客 数	218万1,900人	200万3,200人
経 済 効 果	233億0,950万円	212億4,600万円

【観客数、参加チーム数、参加者数の推移（過去10年）】

	第11回 (14年度)	第12回 (15年度)	第13回 (16年度)	第14回 (17年度)	第15回 (18年度)	第16回 (19年度)	第17回 (20年度)	第18回 (21年度)	第19回 (22年度)	第20回 (23年度)
参加チーム数	344	330	333	334	350	341	330	316	304	284
参加者(百人)	440	440	430	430	450	430	430	330	300	280
観客数(万人)	151	202	208	214	186	216	202	179	218	200

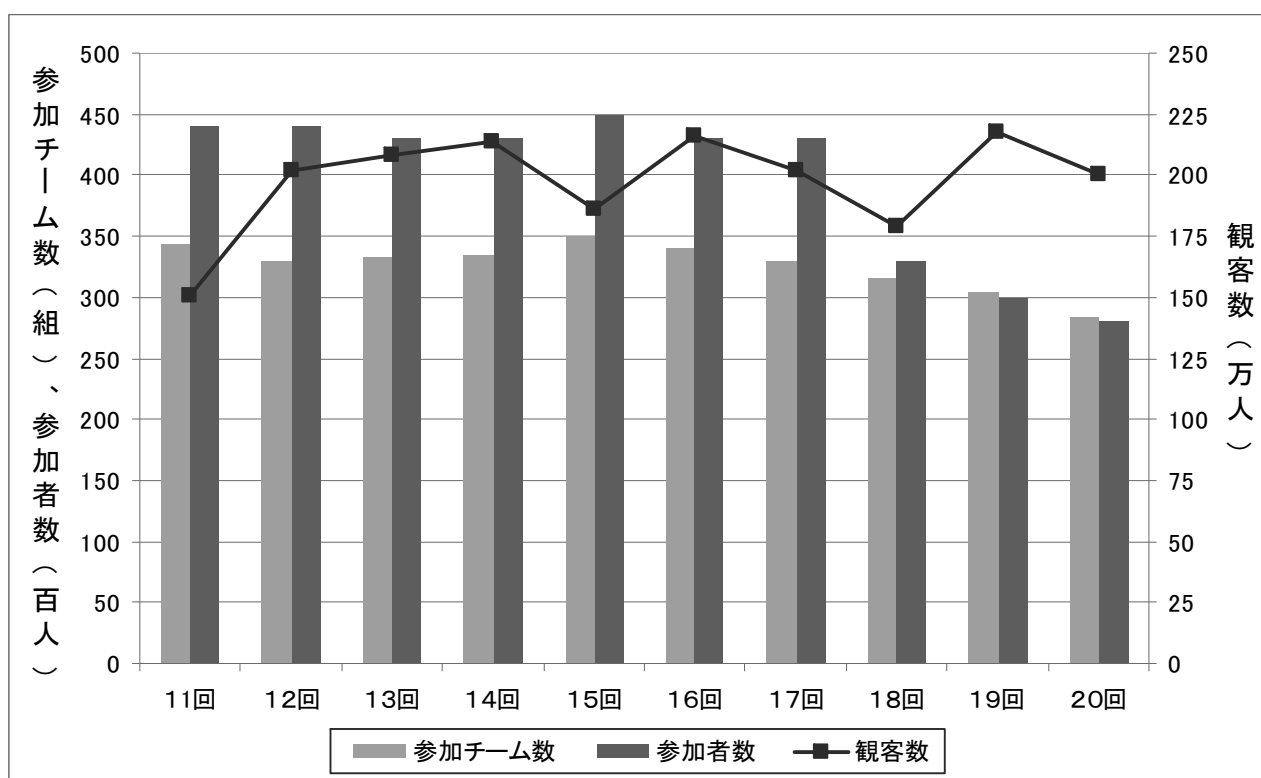


図4-2 YOSAKOIソーラン祭りの観客数、参加チーム数、参加者数の推移

(3) さっぽろ夏まつり

昭和 29 年、夏の観光名物の新規開拓を目指して、それまで市内の各団体・地域がそれぞれ独自に実施してきた夏の行事が一つにまとめられました。「さっぽろ夏まつり」の誕生です。

現在、このまつりは毎年 7・8 月に 1 カ月間連続して開催され、大通会場をはじめ、狸まつり、すすきの祭りなど、各団体・各地域の催しものから構成されています。そしてこのイベントの中心となっているのがビアガーデンと盆踊りです



まつりの前半には、メイン会場の「福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデン」に色とりどりのパラソルの花が咲き、ジョッキ数十万杯分の生ビールが市民や観光客ののどを潤します。後半に催される「北海盆踊り」では、提灯の列に彩られた夜の大通にやぐら太鼓が鳴り響き、大勢の市民と観光客で踊りの輪が広がっていきます。

(URL) <http://www.sapporo-natsu.com/>

【第 58 回さっぽろ夏まつりの開催概要】

期 間：平成 23 年 7 月 21 日（木）～8 月 20 日（土）〔31 日間〕

行事等

	行 事 ・ 会 場	日 程
大 通	福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデン (西 4～8、10・11 丁目)	7 月 21 日～8 月 15 日
	北海盆踊り (西 2 丁目)	8 月 14 日～20 日
	「仮装コンクール」(西 2・3 丁目)	8 月 20 日
	さっぽろバザール (西 5・6 丁目)	8 月 18 日～20 日
狸 小 路	第 58 回狸まつり	7 月 21 日～8 月 20 日
すすきの	第 47 回すすきの祭り	8 月 4 日～6 日

【ビール消費量および盆踊り参加者数の推移（過去 10 年）】

	第49回 (平成14年)	第50回 (平成15年)	第51回 (平成16年)	第52回 (平成17年)	第53回 (平成18年)	第54回 (平成19年)	第55回 (平成20年)	第56回 (平成21年)	第57回 (平成22年)	第58回 (平成23年)
ビール消費 量(kℓ)	256	256	442	428	575	459	539	520	416	474
盆踊り参加 者(千人)	127	173	149	84	87	101	108	91	115	103
平均最高気 温(℃)	25.1	23.3	28.2	27.0	27.9	26.4	26.4	25.8	27.8	27.4

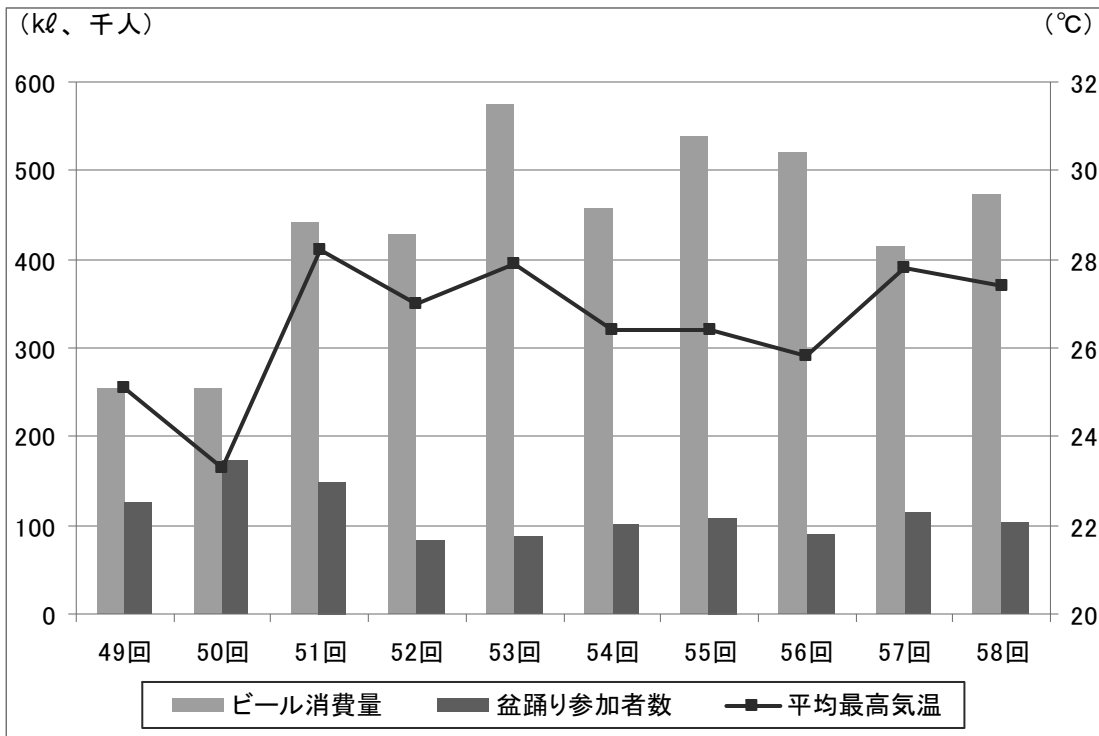


図 4-3 さっぽろ夏まつりのビール消費量及び盆踊り参加者数、平均最高気温の推移

(4) さっぽろライラックまつり

明治期に米国からもたらされて以来、ライラック（別名リラ）は多くの市民に愛され、街角や庭先を飾ってきました。昭和34年に「ロマンのまちらしい札幌のまつりを」という文化団体や芸術・文化人らの呼びかけで、ライラックまつりは始まりました。翌、昭和35年には、札幌市の人口50万人突破を記念して行われた市民投票で、市の花・木・鳥を決めた際に「札幌の木」として選ばれています。



毎年5月下旬の開花時期にあわせて開催される「さっぽろライラックまつり」は、半年あまりの長い冬からの解放と野外散策の季節の到来を市民に告げるイベントであり、平成23年で53回目を迎えました。小・中・高校生による吹奏楽・合唱などが行われる「ライラック音楽祭」や茶道の各流派による「野だて」などの文化行事が多数行われたほか、道内14のワイナリーの個性豊かなワインと道産食材の料理を楽しむワインガーデンも人気を博しました。

また、第2会場として、白石区の川下公園でも、ライラックの森を公園職員が案内するライラックツアーやライラックをテーマとしたフォトコンテストなどの各種イベントを開催しました。

(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/lilac/>

【第 52・53 回 さっぽろライラックまつりの開催概要】

	第 52 回（平成 22 年度）		第 53 回（平成 23 年度）	
期 間	平成 22 年 5 月 19 日（水） ～23 日（日）	5 月 30 日（日） 6 月 6 日（日）	平成 23 年 5 月 25 日（水） ～29 日（日）	6 月 4 日（土） 6 月 5 日（日）
会 場	大通公園西 4～7 丁目	川下公園	大通公園西 4～7 丁目	川下公園
行 事 等	苗木プレゼント、ライラック写生コーナー、野だて、ライラック音楽祭、似顔絵コーナー、スタンプラリー、折紙教室、和紙ちぎり絵展示・教室、万華鏡の体験・展示コーナー、喫茶コーナー、ワインガーデン、ライラック展示・相談コーナー 他			
観 客 数	411,800 人		418,500 人	

(5) さっぽろ菊まつり

昭和 30 年代の園芸ブームに乗って菊作りの愛好者が増え、市民の関心が高まる中、それまでばらばらであった小規模な同好会の活動が一本化され、全市的なイベント「さっぽろ菊花展」が誕生しました。昭和 38 年の第 1 回開催から 4 年を経た第 5 回からは、名称が「さっぽろ菊まつり」に変わり、展示会から市民も催しの参加者となって共に楽しむまつりとなりました。

また、昭和 49 年からは、札幌地下街を会場とし、全国でも例のない屋内型の菊まつりとして、札幌市の秋の恒例行事として内外に定着しました。さらに、平成 23 年より、様々なイベントが可能な札幌駅前地下広場に主要会場を移し、菊花総合花壇の創設や、伝統的な芸術文化行事による和を基調とした空間演出などを併せて実施します。



(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/kiku/>

【2010 さっぽろ菊まつりの開催概要】

期 間	平成 22 年 10 月 31 日（日）～11 月 3 日（水・祝）〔4 日間〕
会 場	さっぽろ地下街オーロラタウン・ポールタウン、地下鉄大通駅コンコース
行 事 等	菊花プレゼント、菊花展、初心者相談コーナー、菊づくり講習会
観 客 数	140 万人
出 展 数	549 点

(6) さっぽろホワイトイルミネーション

昭和 56 年に、秋の観光シーズンと「さっぽろ雪まつり」をつなぐイベントとして始められ、当初は大通公園の西 2 丁目のみを会場に 1,048 個の電球からスタートしました。現在は、大通公園と駅前通りを会場とするに至り、50 万個もの電球が飾られたシンボルオブジェや立木が東西・南北両方向に街を貫きます。

27 回からは、南一条通りが新会場として加わりました。



(URL) <http://www.white-illumination.jp/>

【第 30 回さっぽろホワイトイルミネーションの開催概要】

会 期	大通公園会場 [大通西 1～8 丁目]	平成 22 年 11 月 26 日(金)～ 平成 23 年 1 月 2 日(日) 38 日間
	駅前通り会場 [北 4 条～南 4 条]	平成 22 年 11 月 26 日(金)～ 平成 23 年 2 月 13 日(日) 80 日間
	南一条通り会場 [南 1 西 1～西 3]	平成 22 年 11 月 26 日(金)～ 平成 23 年 2 月 13 日(日) 80 日間
点灯時間	16 時 30 分～22 時 30 分 (12 月 23 日～25 日は 24 時まで)	
総電球数	50 万個	
行 事 等	ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 大通西 2 丁目 11 月 26 日(金)～12 月 24 日(金)	

(7) さっぽろオータムフェスト

さっぽろオータムフェストは、「北海道・札幌の食」をメインテーマとし、札幌市内の魅力発信はもとより、道内市町村や民間事業者との連携を図り、道内各地域のアンテナショップとしての役割を果たし、北海道全体の活性化に貢献することを目的に平成 20 年度からスタートしました。

道内各市町村で採れた農産物や海産物、地元の食材を生かした個性あるご当地のグルメ、道産の酒やおつまみなどの特選品が並び、多くの来場者の方々に秋の味覚をお楽しみいただきました。



(URL) <http://www.sapporo-autumnfest.jp/>

【さっぽろオータムフェスト 2011 の開催概要】

期 間	平成 23 年 9 月 16 日（金）～10 月 2 日（日）〔17 日間〕
会 場	大通公園 4 丁目～8 丁目
行 事 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープニングセレモニー（6 丁目野外ステージ 9 月 16 日） ・ ウェルカムゲート（4 丁目） ・ 北海道の新・ご当地グルメ&ラーメン祭り（5 丁目） ・ あおぞら×ほしぞら 大通バザールアミーゴ！（6 丁目） ・ 北海道のお酒と酒肴（7 丁目） ・ 札幌大通ふるさと市場（8 丁目）

【来場者数の推移】

	第1回 (平成20年)	第2回 (平成21年)	第3回 (平成22年)
来場者数 (千人)	724	1,304	1,115

2 札幌でのコンベンション開催状況

(1) 札幌での主なコンベンション開催状況

(単位：件、%)

年 度	合 計		国際大会	全国大会	全道大会
	件 数	前年比(%)	件 数	件 数	件 数
18年度	911	104.5	64	222	625
19年度	952	104.5	67	112	773
20年度	1,059	111.2	109	183	767
21年度	987	93.2	87	104	796
22年度	1,050	106.4	83	164	803

(注) 関係機関、市内各大学各種団体に照会し、回答のあったものについて集計。

(2) 札幌コンベンションセンター稼働率（平成22年度）

	利用日(日)	稼働率(%)
大ホール	265	74.9
特別会議場	150	42.4
中ホール	243	68.6
小ホール	222	62.7
会議室(15室)	250	70.7

総来場者数	349,233人
-------	----------

(注) 稼働率は、営業日数354日で計算。

参 考

国際コンベンション開催状況の他都市との比較

(単位：件)

2007年（平成19年）			2008年（平成20年）			2009年（平成21年）		
順位	都 市	件 数	順位	都 市	件 数	順位	都 市	件 数
1	東京(23区)	440	1	東京(23区)	480	1	東京(23区)	497
2	京都	183	2	横浜	184	2	福岡	206
3	横浜	157	3	福岡	172	3	横浜	179
4	福岡	151	4	京都	171	4	京都	164
5	名古屋	109	5	名古屋	130	5	名古屋	124
6	神戸	89	6	神戸	94	6	大阪	94
7	つくば地区	82	7	つくば地区	80	7	札幌	82
8	大阪	76	8	大阪	77	8	神戸	76
9	仙台	51	9	札幌	77	8	つくば地区	74
10	札幌	44	10	千葉	67	10	千里地区	71

(注) 「千里地区」とは豊中市、吹田市、茨木市、高槻市、箕面市を指す。

「つくば地区」とはつくば市、土浦市を指す。

<資料> 日本政府観光局(JNTO) 国際会議統計